

境内神社

筑紫神社

島社

渡邊綱神社

例祭日 陰曆八月十五日

神饌幣帛料供進 明治四十年四月二日

會計法適用 明治四十一年九月三十日

指定年月日 地發第二十九號ノ三

指定年月日 地發第四百七十八號

氏子戸數 二百十八戸

崇敬者員數

○埼玉縣武藏國北足立郡三室村大字三室

郷社

氷川女體神社

祭神 稲田姫命

合祀 三穗津姫命 大己貴命

元と單に氷川神社と稱せしを、中古浮屠の輩今の號に改めしと、創立年代詳ならずといへども、社傳に據れば、崇神天皇の御宇の創建にして、大宮の氷川神社、中川の氷川神社、及び當社の三社を合して氷川神社と稱せしを、世の變遷に伴ひ、いつしか各別社となれるものなりと、御神體は三體ニシテ、中央ハ稲田姫、左ハ三穗津姫命、右ハ大己貴命と新編武藏風土記に見えたり、古來上下の歸依厚く、往昔三千五百貫の圭田ありと稱せられ、社實に持統天皇御寄附の大殿若經六百卷其他空海の心經、北條泰時の太刀、正應六年の上杉朝興の制札、大永四年の小田原北條家の文書等頗る多し、徳川幕府に至りて益々神威揚焉として、天正十九年

來代々社領五十石、除地百石の寄進あり、且つ毎歲正月、神主登城、大廣間にて將軍に謁し、代替毎に時服を拜受するを以て例とせり、故に諸國大社十九ヶ社の一に數へられ、寺社奉行直營の神社たり、明治六年四月郷社に列せらる。

寛文七年、徳川家綱の再興に係る、棟札あり、文に云く、

「上棟、武藏國一宮氷川女體大明神、征夷大將軍源朝臣家綱公御再興、阿部朝臣忠秋奉、寛文七年丁未六月十二日御遷座、神主武笠宮内丞佐伯豊雄、」

後ち貞享、享保、寛延に修營ありたり、境内は三千七百五十坪（官有地第一種）及土地林六百坪、古松老楓、數百株鬱然として森を爲す、新編武藏風土記に、社頭の風景を贊して云く、

「石階ヲ下リシ所、三沼代用水流アリ、コ、ヨリ望メバ、左右山丘ナレドモ、其内ニ眼モ及バヌマデ、水田ウチヒラケ、姑ラク畫中ノ看ヲナセリ。」

と、元と當社頭前、方一里餘の御手洗池ありしが、享保年間埋めて新田と爲し、今僅かに一泓の池水を存するのみなりと。

當社は古來、當國一ノ宮と稱し、寛文の棟札及鳥居の額等に武藏國の一宮と記せり、然れども新編武藏風土記稿之を辨じて、附會説となせり、云く、

「神職及比土人等ハ、當國一ノ宮ト稱スレド、一ノ宮ハ、大宮宿氷川明神ナルコトハ古書ニモ載セ、疑フベシトモオモハレズ、況ヤ當社ニハ、サセル舊記モナク、又文珠院所藏ノ大殿若經、其餘ノ古文書、且ツ正保ノ國圖等、悉ク女體權現ト、ノセタレバ、一宮ナラント云ハ、附會ナルコト論ヲマタズ。」

社殿は本殿、幣殿、拜殿、玉垣、神門、神庫、社務所、石鳥居、木鳥居、水屋形、一ノ御橋二ノ御橋、石燈籠、數基等を具備し、境内三千五十一坪、官有地第一種外に上地林二反歩を明治三十一年中境内に編入せらる。

境内神社 神明社 宗像社 住吉社 御嶽社 石上社

境内遙拜所 社偶神社 天孫合祀

例 祭 日 十月八日

會計法適用 明治四十一年九月三十日
指定年月日 地發第四百七十八號

神饌幣帛料供進 明治四十年四月二日
指定年月日 地發第二十九號ノ三
氏子戸數 二百四十五戸
崇敬者員數

○埼玉縣武藏國北足立郡新郷村大字峯

郷社 峯ヶ岡神社

祭神 息長帶日賣命 品陀和氣天皇 帶仲日子天皇

創立年代詳ならず、但口碑に云く、僧圓仁の創建に係ると、圓仁は慈覺大師、淳和天皇の御宇東國に來り、後ち清和天皇の御宇再び來る、又新編武藏風土記稿に一説あり、此附近、元と鶴岡の社領たりしやの形跡あり、若し果して然りと爲ば、鶴岡八幡遙拜の爲め、土人の勸請せるものなるべしと、御神體は、僧形ニシテ、長七寸許、慈覺大師ノ作、傍ニ仲哀天皇の御像アリ、氣比明神ト崇ム、又古鏡一面ヲ香椎明神ノ神體トス、是ハ神功皇

后ヲ祀レリト云」と同書に見えたり、天正十九年、徳川幕府社領三十石の朱印を寄進す、諸社御朱印寫に云

「八幡宮領、武藏國足立郡古田郷之内三十石事、任天正十九年十一月日、元和三年四月六日、寛永十三年十一月九日、先判之旨、永不可有相違者也、

古來、谷古田領の總鎮守にして、明治六年四月郷社に列せらる、社殿は本殿、拜殿、蓋し元祿十年の建立に係る、境内は千七百七十坪(官有地第一種)老樹蒼鬱として四境を掩ひ、頗る幽邃の地たり、本殿の傍に老公孫樹あり、圍二丈四五尺、傳へ云ふ、若狹の八百比丘尼の植うる所なりと、尼は郡中具塚の人、當社寶物として、古代の假面四、甲冑鞍轡龍頭及僧天海の判狀、大永七年元祿十年の棟札を藏す。

境内神社 須賀社 合幣社 嚴島社

例 祭 日 九月十五日

會計法適用 明治四十一年九月三十日
指定年月日 地發第四百七十八號

神饌幣帛料供進 明治四十年四月二日
指定年月日 地發第二十九號ノ三
氏子戸數 六千三百六十四戸
崇敬者員數

○埼玉縣武藏國入間郡毛呂村大字前久保

郷社 出雲伊波比神社